

# 農業物価指数の令和2年（2020年）基準改定について

令和4年7月29日

（令和4年9月30日修正）

農林水産省大臣官房統計部

## 1 農業物価統計調査の概要

農業物価統計調査は、農業における投入・産出の物価変動を測定するため、農業経営に直接関係のある物価を把握し、その結果を総合して農業物価指数を作成することを目的としています。

### (1) 調査の種類

#### ア 農産物生産者価格調査

農産物生産者価格調査は、農産物価格指数を作成するために、農業経営体が生産する農産物のうち販売金額が多い品目及び行政施策上重要な品目の価格を調査するものです。

#### イ 農業生産資材価格調査

農業生産資材価格調査は、農業生産資材価格指数を作成するために、農業経営体が購入する農業生産に必要な資材のうち使用割合が高い品目及び行政施策上重要な品目の価格を調査するものです。

### (2) 指数の算式

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の品目別価格指数及び総合（類別）価格指数は、ラスパイレス式の算式を用いて算出しています。

指数の算出手順は、農産物及び農業生産資材のそれぞれの品目別価格指数を算出し、その品目別価格指数を用いて総合（類別）価格指数を算出しています。

#### ア 品目別価格指数の算式

$$I_{t u i} = \frac{P_{t u i}}{P_{0 i}} \times 100$$

$I_{t u i}$  : t年u月におけるi品目の価格指数

$P_{t u i}$  : t年u月におけるi品目の価格

$P_{0 i}$  : 基準時におけるi品目の価格（令和2年の年平均価格）

注： 品目の価格は次の方法により算出。

#### ・農産物価格

①全国月平均価格：調査都道府県別の月平均価格に該当月の都道府県別出荷量によるウエイトを用いた加重平均により算出。

②全国年平均価格：全国月平均価格に全国の月別出荷量ウエイトを用いた加重平均により算出。

・農業生産資材価格

①全国月平均価格：調査都道府県別の月平均価格の単純平均により算出。

②全国年平均価格：全国月平均価格の単純平均により算出。

イ 総合（類別）価格指数の算式

$$I t u = \frac{\sum_i I t u i \cdot W u i}{\sum_i W u i}$$

$I t u$  :  $t$  年  $u$  月 における総合（類別）価格指数

$I t u i$  :  $t$  年  $u$  月 における  $i$  品目の価格指数

$W u i$  :  $u$  月 の  $i$  品目のウエイト

## 2 基準改定の趣旨

政府及び関係機関で作成する主要経済指標の一つである本指数の基準時については、他の経済指標と同様に、「指数の基準時に関する統計基準」（平成22年3月31日総務省告示第112号）に基づき5年ごとに改定を行っています。

今回の改定は、農産物の出荷動向や農業生産資材の使用状況をできる限りの確に指数に反映させるため、①指数採用品目の追加・削除、②類別ウエイトの作成基データの変更、③流通実態を踏まえた調査客体の追加を行うなど所要の改正を行い、基準時及びウエイトを平成27年基準から令和2年基準に改定しました。

## 3 基準改定の概要

### (1) 指数採用品目の追加・削除

今回の改定における農産物価指数に採用する品目については、農産物、農業生産資材それぞれについて、品目別価格指数の連続性を考慮し、前基準（平成27年基準）の指数採用品目を基本としつつ、農産物の出荷動向や農業生産資材の使用状況を的確に指数に反映させるため、品目の追加又は削除を行いました。

#### ア 農産物価格指数採用品目

指数採用品目を検討した結果、シャインマスカット、ミニトマト等の4品目を新たに採用する一方、カスミソウ、りんどう等の14品目を削除し、令和2年基準に用いる指数採用品目数は、10分類、112品目となりました。【資料編の1】

#### イ 農業生産資材価格指数採用品目

指数採用品目を検討した結果、肥料（2品目）、農業薬剤（7品目）

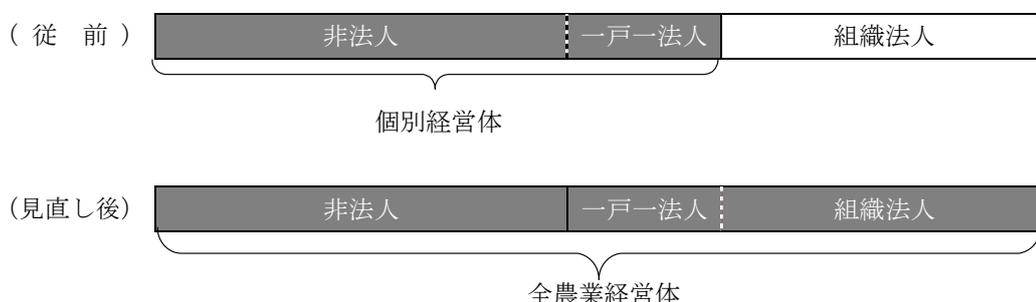
を新たに採用し、令和2年基準に用いる指数採用品目数は12分類、150品目となりました。【資料編の2】

(2) 類別ウエイトの作成基データの変更等

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の総合価格指数の算出に用いる類別ウエイトについて、従前は、農業経営統計調査経営形態別経営統計（個別経営）結果により作成していました。

令和2年基準からは組織法人経営体を含む全農業経営体を対象とした結果を基に作成しました。【資料編の3】

図 類別ウエイトの作成基データの変更



注：法人経営体のうち組織法人は、農事組合法人及び会社組織による経営体をいう。

なお、品目別ウエイトについては、類別ウエイトを農業産出額における品目別の産出額等で按分し作成しました。【資料編4】

(3) 流通実態を踏まえた調査客体の追加

近年の多様化する流通実態を調査に反映するため、農産物生産者価格調査は市場外流通客体、農業生産資材価格調査は農協以外の客体について従来より調査している客体数に追加し、その割合を増加させました。

(4) 新・旧指数の接続

ア 月別価格指数

令和2年1月以降の農産物価格指数及び農業生産資材価格指数を新基準により遡及して価格指数を算出しました。

イ 新旧指数の接続

令和元年以前の結果（平成27年基準）との時系列比較が可能となるよう、農産物価格指数及び農業生産資材価格指数の総合（類別）価格指数についてリンク係数を求め新旧指数の接続を行いました。

(例) 平成27年基準指数を令和2年基準指数に接続する場合

令和2年基準接続指数 = 平成27年基準指数 ÷ リンク係数

リンク係数 = 平成27年基準の令和2年平均指数 ÷ 100

#### 4 令和2年基準指数と平成27年基準指数の比較

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数について、総合及び類別に新旧価格指数それぞれの対前年騰落率の比較を行いました。【資料編の5】

##### (1) 農産物価格指数

新旧の騰落率の差について、農産物価格指数（総合）でみると+3.6ポイントとなりました。この要因は、類別ウエイトの作成基データの変更により、対前年騰落率で△11.4%の米類の影響が減少する一方、+5.6%の畜産物の影響が高まったためです。

次に主要な類別の新旧の騰落率の差をみると米は△0.5ポイント、野菜は+0.6ポイントと著しい差が見られないものの、果実で+4.1ポイント、畜産物で+3.4ポイントとなりました。この要因は、類内の品目別ウエイトの変更により、果実は下落傾向のりんごの影響が減少する一方で上昇傾向のぶどうの影響が高まったこと、畜産物は下落傾向の生乳の影響が減少する一方で上昇傾向の肉畜の影響が高まったためです。

##### (2) 農業生産資材価格指数

新旧の騰落率の差について、農業生産資材価格指数（総合）で+1.7ポイントとなりました。この要因は、類別ウエイトの作成基データの変更により、対前年騰落率の上昇率の大きい畜産用動物（+5.9%）及び飼料（+15.6%）の影響が高まったためです。

次に主要な類別の新旧の騰落率の差をみると飼料で+1.6ポイントとなりました。この要因は上昇率の高い配合飼料の影響が高まったためです。畜産用動物、肥料、農業薬剤、光熱動力、農機具、建築資材は△0.1～+0.4ポイントと著しい差が見られない結果となりました。

#### 5 パーシェ・チェックの結果

農産物価格指数及び農業生産資材価格指数について、平成27年基準（旧基準）の令和2年の年次別価格指数を用いて、ラスパイレス式のウエイトの妥当性を検討する手段の1つとしてパーシェ・チェックを行いました。

結果は、以下のとおりです。【資料編の6】

(1) 農産物価格指数

農産物価格指数の乖離率は $\Delta 5.2\%$ となりました。

これはウエイトの元となる農業経営統計調査経営形態別経営統計において、近年の農業生産の現場における法人化の進展等を踏まえ、個人経営体（農家）と法人経営体を統合した全農業経営体による集計が新たに行われ、この結果を令和2年基準よりウエイトに反映したことで、法人を含んだ経営体全体の動向が適切に反映された結果です。

法人経営体は畜産関係の経営体が多く、かつ大規模な経営を行っていることから、全農業経営体を基に作成したウエイトで畜産物の割合が高まり一方米の割合が下がりました。

乖離率 $\Delta 5.2\%$ が生じた具体的な要因は、指数が基準年（平成27年＝100）と同程度（令和2年指数が102.0）であった畜産物のウエイトが1,005増加（総ウエイトは10,000）した一方で、指数が高水準（令和2年指数が128.9）であった米のウエイトが701減少した事によります。

(2) 農業生産資材価格指数

農業生産資材価格指数の乖離率は $0.3\%$ となり、著しい差が見られない結果となりました。

(参考) 近年の基準改定時における集計方法等の主な変更点

改定年次	内 容
平成12年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の総合及び類別の価格指数の算出に当たっては、月別の変動幅を緩和してしまうこととなっていた従来の「品目別月別ウエイト保合方式」による指数算出から、類のウエイトを固定し、類内の品目別月別ウエイトを出回り量によって変動させる「品目別月別ウエイト変動方式」に変更。</li> <li>・生活資材価格指数を廃止し、指数の概念を「農村における景気の動向と物価水準の変動を測定する物価指数」から「農業における投入・算出の物価変動を測定する物価指数」に改め、「農村物価指数」の名称を「農業物価指数」に改称。</li> </ul>
平成17年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産資材の「ガソリン」「灯油」「ホース」「パーソナルコンピューター」「塗料」の5品目について、消費者物価指数（総務省）の公表値を使用。</li> </ul>
平成22年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産資材の農業薬剤（6品目）、農機具の「乗用型トラクター25馬力」を新たに採用し、農業薬剤（2品目）を削除。</li> </ul>
平成27年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の「みずな」、「たけのこ」（2品目）を新たに採用。</li> <li>・農業生産資材の農業薬剤（6品目）を新たに採用し、農業薬剤（5品目）を削除。</li> <li>・農業生産資材の品目のうち、消費者物価指数の公表値を利用していた「ホース」は農業物価統計調査において指数を作成することとし、「塗料」は削除。</li> </ul>
令和2年基準改定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の「シャインマスカット」、「ミニトマト」「西洋なし」、「みょうが」（4品目）を新たに採用し、「カスミソウ」、「りんどう」等14品目を削除。</li> <li>・農業生産資材の肥料（2品目）、農業薬剤（7品目）を新たに採用。</li> <li>・類別データの作成基データについて、個別経営体から全農業経営体に変更。</li> <li>・農産物生産者価格調査は市場外流通客体、農業生産資材価格調査は農協以外の客体を追加。</li> </ul>

お問合せ先

大臣官房統計部 経営・構造統計課 分析班  
担当：原、村永、原田  
電話：03-3502-5653

# 農業物価指数の令和2年(2020年)基準改定結果

## [ 資料編 ]

1	農産物価格指数 追加・削除品目	1
2	農業生産資材価格指数 追加・削除品目	2
3	農業物価指数 類別ウエイトの新旧対照表	3
4	農業物価指数 品目別ウエイトの新旧対照表	4
5	令和2年基準指数と平成27年基準指数の比較	9
6	パーシェ・チェックの結果	10

令和4年7月  
(令和4年9月30日修正)

農林水産省大臣官房統計部

# 1 農産物価格指数 追加・削除品目

## (1) 追加・削除した品目

類 区 分	追 加	削 除
米	—	・うるち白米 ・もち白米
野菜	・ミニトマト ・みょうが	—
果実	・西洋なし ・シャインマスカット	—
花き（切り花）	—	・カスミソウ ・りんどう ・チューリップ ・スターチス ・ガーベラ ・洋らん
花き（球根）	—	・チューリップ ・ゆり ・グラジオラス
花き（鉢物）	—	・プリムラ類
畜産	—	・子豚
稲わら	—	・稲わら

## (2) 農産物価格指数採用品目数

類 区 分	平成27年基準	令和2年基準	増 減
米	4	2	△ 2
麦	4	4	0
雑穀	1	1	0
豆	3	3	0
いも	5	5	0
野菜	39	41	2
果実	22	24	2
工芸農作物	8	8	0
花き	17	7	△ 10
畜産物	18	17	△ 1
稲わら	1	0	△ 1
合 計	122	112	△ 10

## 2 農業生産資材価格指数 追加・削除品目

### (1) 追加・削除した品目

類 区 分	追 加	削 除
肥料	・塩化カリウム ・NK化成肥料	—
農業薬剤	・アセタミプリド水溶剤(顆粒) ・フルアジナム水和剤SC ・イミノクタジン酢酸塩液剤 ・クロラントラニプロール・プロ ベナゾール粒剤 ・クロチアニジン・イソチアニル粒 剤 ・イミダクロプリド・スピノサド・イソ チアニル粒剤 ・シハロホップブチル・ベンタゾ ン液剤ME	—

### (2) 農業生産資材価格指数採用品目数

類 区 分	平成27年基準	令和2年基準	増 減
種苗及び苗木	17	17	0
畜産用動物	11	11	0
肥料	16	18	2
飼料	13	13	0
農業薬剤	21	28	7
諸材料	9	9	0
光熱動力	7	7	0
農機具	21	21	0
自動車・同関係料金	4	4	0
建築資材	8	8	0
農用被服	5	5	0
賃借料及び料金	9	9	0
合 計	141	150	9

### 3 農作物価指数 類別ウエイトの新旧対照表

#### (1) 農産物価格指数

単位：万分比

類 区 分	平成27年基準 (旧)	令和2年基準 (新)	令和2年基準- 平成27年基準
農産物（総合）	10,000	10,000	
米	2,273	1,572	△ 701
麦	81	80	△ 1
雑穀	14	6	△ 8
豆	103	84	△ 19
いも	213	274	61
野菜	2,582	2,464	△ 118
果実	1,097	966	△ 131
工芸農作物	232	297	65
花き	502	352	△ 150
畜産物	2,900	3,905	1,005
稲わら	3	-	△ 3

#### (2) 農業生産資材価格指数

単位：万分比

類 区 分	平成27年基準 (旧)	令和2年基準 (新)	令和2年基準- 平成27年基準
農業生産資材（総合）	10,000	10,000	
種苗及び苗木	530	454	△ 76
畜産用動物	588	1,131	543
肥料	1,035	776	△ 259
飼料	1,925	2,296	371
農業薬剤	774	805	31
諸材料	365	604	239
光熱動力	912	850	△ 62
農機具	1,882	1,326	△ 556
自動車・同関係料金	530	274	△ 256
建築資材	375	807	432
農用被服	28	50	22
賃借料及び料金	1,056	627	△ 429

#### 4 農作物価指数 品目別ウエイトの新旧対照表

##### (1) 農産物価格指数採用品目

平成27年基準(旧指数)		令和2年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
<b>米</b>	<b>2,273</b>	<b>米</b>	<b>1,572</b>	<b>△ 701</b>
うるち玄米	2,093	うるち玄米	1,526	△ 567
もち玄米	63	もち玄米	46	△ 17
うるち白米	108	(削除)	—	△ 108
もち白米	9	(削除)	—	△ 9
<b>麦</b>	<b>81</b>	<b>麦</b>	<b>80</b>	<b>△ 1</b>
小麦	59	小麦	62	△ 3
はだか麦	2	はだか麦	1	△ 1
六条大麦	3	六条大麦	2	△ 1
ビール麦(二条大麦)	17	ビール麦(二条大麦)	15	△ 2
<b>雑穀(そば)</b>	<b>14</b>	<b>雑穀(そば)</b>	<b>6</b>	<b>△ 8</b>
<b>豆</b>	<b>103</b>	<b>豆</b>	<b>84</b>	<b>△ 19</b>
大豆	62	大豆	50	△ 12
小豆	29	小豆	23	△ 6
らっかせい	12	らっかせい	11	△ 1
<b>いも</b>	<b>213</b>	<b>いも</b>	<b>274</b>	<b>△ 61</b>
かんしょ(食用)	71	かんしょ(食用)	91	△ 20
〃(加工用)	10	〃(加工用)	13	△ 3
ぼれいしょ(食用)	98	ぼれいしょ(食用)	126	△ 28
〃(加工用)	24	〃(加工用)	31	△ 7
〃(種子用)	10	〃(種子用)	13	△ 3
<b>野菜</b>	<b>2,582</b>	<b>野菜</b>	<b>2,464</b>	<b>△ 118</b>
<b>果菜</b>	<b>1,126</b>	<b>果菜</b>	<b>1,068</b>	<b>△ 58</b>
きゅうり	220	きゅうり	178	△ 42
なす	124	なす	109	△ 15
トマト	203	トマト	171	△ 32
(追加)	—	ミニトマト	94	△ 94
かぼちゃ	45	かぼちゃ	36	△ 9
すいか	67	すいか	68	△ 1
いちご	224	いちご	215	△ 9
ピーマン	88	ピーマン	70	△ 18
メロン(アンデス)	19	メロン(アンデス)	19	△ 0
〃(温室)	81	〃(温室)	52	△ 29
スイートコーン	43	スイートコーン	45	△ 2
オクラ	12	オクラ	1	△ 11
<b>葉茎菜</b>	<b>1,083</b>	<b>葉茎菜</b>	<b>940</b>	<b>△ 143</b>
はくさい	43	はくさい	56	△ 13
キャベツ	136	キャベツ	123	△ 13
レタス	103	レタス	87	△ 16
ほうれんそう	45	ほうれんそう	89	△ 44
ねぎ	203	ねぎ	183	△ 20
たまねぎ	136	たまねぎ	113	△ 23
にら	56	にら	37	△ 19
しゅんぎく	27	しゅんぎく	16	△ 11
にんじん	29	にんじん	24	△ 5
ブロッコリー	81	ブロッコリー	60	△ 21
アスパラガス	53	アスパラガス	34	△ 19
みつば	15	みつば	7	△ 8
こまつな	58	こまつな	34	△ 24
チンゲンサイ	21	チンゲンサイ	12	△ 9
みずな	28	みずな	14	△ 14
たけのこ	17	たけのこ	10	△ 7
おおば	32	おおば	20	△ 12
(追加)	—	みょうが	11	△ 11
<b>根菜</b>	<b>265</b>	<b>根菜</b>	<b>351</b>	<b>△ 86</b>
だいこん	55	だいこん	94	△ 39
にんじん	74	にんじん	68	△ 6
ごぼう	18	ごぼう	33	△ 15
さといも	45	さといも	41	△ 4
かぶ	8	かぶ	14	△ 6
やまのいも	36	やまのいも	49	△ 13
れんこん	16	れんこん	24	△ 8
しょうが	13	しょうが	28	△ 15
<b>まめ科野菜</b>	<b>108</b>	<b>まめ科野菜</b>	<b>105</b>	<b>△ 3</b>
さやえんどう	27	さやえんどう	26	△ 1
さやいんげん	32	さやいんげん	32	△ 0
えだまめ	49	えだまめ	47	△ 2

果 実	1097	果 実	966	△ 131
りんご	263	りんご	188	△ 75
ふ じ	179	ふ じ	137	△ 42
つ がる	34	つ がる	21	△ 13
王 林	24	王 林	13	△ 11
ジョナゴールド	26	ジョナゴールド	17	△ 9
みかん(普通温州)	102	みかん(普通温州)	82	△ 20
〃(早生温州)	125	〃(早生温州)	111	△ 14
なつみかん(甘なつ)	7	なつみかん(甘なつ)	6	△ 1
いよかん	5	いよかん	6	△ 1
日本なし(二十世紀)	24	日本なし(二十世紀)	9	△ 15
〃(豊 水)	44	〃(豊 水)	35	△ 9
〃(幸 水)	73	〃(幸 水)	42	△ 31
(追加)	—	西洋なし	11	△ 11
か き	77	か き	53	△ 24
ぶ どう	146	ぶ どう	209	△ 63
デラウェア	37	デラウェア	24	△ 13
巨 峰	74	巨 峰	44	△ 30
ピオーネ	35	ピオーネ	21	△ 14
(追加)	—	シヤインマスカット	120	△ 120
も も	86	も も	72	△ 14
く り	7	く り	10	△ 3
う め	24	う め	40	△ 16
キウイフルーツ	14	キウイフルーツ	11	△ 3
おうとう	43	おうとう	50	△ 7
すもも	31	すもも	11	△ 20
しらぬい(デコボン)	26	しらぬい(デコボン)	20	△ 6
<b>工芸農作物</b>	<b>232</b>	<b>工芸農作物</b>	<b>297</b>	<b>△ 65</b>
葉たばこ	42	葉たばこ	50	△ 8
てんさい	48	てんさい	69	△ 21
さとうきび	29	さとうきび	52	△ 23
茶(生葉)	61	茶(生葉)	70	△ 9
〃(荒茶)	36	〃(荒茶)	38	△ 2
こんにゃくも	11	こんにゃくも	11	△ 0
いい草	3	いい草	3	△ 0
〃(量表)	2	〃(量表)	4	△ 2
<b>花 き</b>	<b>502</b>	<b>花 き</b>	<b>352</b>	<b>△ 150</b>
切 花	435	切 花	255	△ 180
き く	214	き く	131	△ 83
ば ら	48	ば ら	33	△ 15
カーネーション	32	カーネーション	21	△ 11
カスミソウ	10	(削除)	—	△ 10
りんどう	10	(削除)	—	△ 10
チューリップ	3	(削除)	—	△ 3
ゆ り	54	ゆ り	43	△ 11
トルコギキョウ	29	トルコギキョウ	27	△ 2
スターチス	13	(削除)	—	△ 13
カーベラ	12	(削除)	—	△ 12
洋らん	10	(削除)	—	△ 10
球 根	19	(削除)	—	△ 19
チューリップ	11	(削除)	—	△ 11
ゆ り	4	(削除)	—	△ 4
グラジオラス	4	(削除)	—	△ 4
鉢 物	48	鉢 物	97	△ 49
洋らん	26	洋らん	80	△ 54
シクラメン	17	シクラメン	17	△ 0
プリムラ類	5	(削除)	—	△ 5
<b>畜 産 物</b>	<b>2,900</b>	<b>畜 産 物</b>	<b>3,905</b>	<b>1,005</b>
鶏 卵	139	鶏 卵	561	△ 422
生 乳	1,219	生 乳	956	△ 263
肉 畜	1,014	肉 畜	1,702	△ 688
肉用牛(去勢肥育和牛)	112	肉用牛(去勢肥育和牛)	197	△ 85
〃(雌肥育和牛)	77	〃(雌肥育和牛)	131	△ 54
〃(乳雄肥育ホルスタイン種)	20	〃(乳雄肥育ホルスタイン種)	10	△ 10
〃(乳用肥育交雑種)	48	〃(乳用肥育交雑種)	112	△ 64
肉 豚	462	肉 豚	808	△ 346
ブロイラー	295	ブロイラー	444	△ 149
子 畜	447	子 畜	576	△ 129
ホルスタイン純粋種雌	40	ホルスタイン純粋種雌	56	△ 16
ホルスタイン種雄	14	ホルスタイン種雄	20	△ 6
交雑種	30	交雑種	42	△ 12
肥育用乳用雄(ホルスタイン種)	15	肥育用乳用雄(ホルスタイン種)	21	△ 6
肥育用乳用(交雑種)	34	肥育用乳用(交雑種)	47	△ 13
和子牛(雌)	116	和子牛(雌)	154	△ 38
〃(雄)	168	〃(雄)	236	△ 68
子 豚	30	(削除)	—	△ 30
成 畜	81	成 畜	110	△ 29
乳用成牛(雌)	20	乳用成牛(雌)	27	△ 7
肉用成牛(雌)	61	肉用成牛(雌)	83	△ 22
稲 わら	3	(削除)	—	△ 3

注：農産物総合(類別)の年平均価格指数を算出するためのウエイトを比較したものである。

(2) 農業生産資材価格指数

平成27年基準(旧指数)		令和2年基準(新指数)		差
類・品目名	ウエイト	類・品目名	ウエイト	
<b>種苗及び苗木</b>	<b>530</b>	<b>種苗及び苗木</b>	<b>454</b>	<b>△ 76</b>
種もみ	78	種もみ	66	△ 12
きゅうり種子	16	きゅうり種子	14	△ 2
すいか種子	13	すいか種子	11	△ 2
メロン種子	41	メロン種子	35	△ 6
結球はくさい種子	11	結球はくさい種子	9	△ 2
キャベツ種子	14	キャベツ種子	12	△ 2
ねぎ種子	17	ねぎ種子	15	△ 2
たまねぎ種子	23	たまねぎ種子	20	△ 3
だいこん種子	22	だいこん種子	19	△ 3
にんじん種子	32	にんじん種子	27	△ 5
種ぼれいしょ	30	種ぼれいしょ	26	△ 4
飼料用とうもろこし種子	16	飼料用とうもろこし種子	14	△ 2
水稲苗	59	水稲苗	50	△ 9
きゅうり苗	26	きゅうり苗	22	△ 4
なす苗	43	なす苗	37	△ 6
トマト苗	58	トマト苗	50	△ 8
温州みかん苗木	31	温州みかん苗木	27	△ 4
<b>畜産用動物</b>	<b>588</b>	<b>畜産用動物</b>	<b>1,131</b>	<b>543</b>
初生びな(肉用専用種)	61	初生びな(肉用専用種)	117	56
大びな(卵用鶏)	24	大びな(卵用鶏)	46	22
子豚(肉用)	7	子豚(肉用)	13	6
〃(繁殖用雌)	15	〃(繁殖用雌)	29	14
乳用牛(子牛)	21	乳用牛(子牛)	40	19
〃(成牛)	63	〃(成牛)	121	58
肉用牛(子牛(繁殖用))	53	肉用牛(子牛(繁殖用))	102	49
〃(去勢)	280	〃(去勢)	541	261
〃(乳用肥育交雑種)	37	〃(乳用肥育交雑種)	71	34
〃(乳用交雑種)	20	〃(乳用交雑種)	38	18
肉用牛成牛(繁殖用)	7	肉用牛成牛(繁殖用)	13	6
<b>肥料</b>	<b>1,035</b>	<b>肥料</b>	<b>776</b>	<b>△ 259</b>
無機質	1,008	無機質	755	△ 253
硫酸	13	硫酸	12	△ 1
石灰窒素	21	石灰窒素	12	△ 9
尿素	5	尿素	4	△ 1
過りん酸石灰	7	過りん酸石灰	2	△ 5
よう成りん肥	23	よう成りん肥	5	△ 18
重焼りん肥	14	重焼りん肥	11	△ 3
(追加)	—	塩化カリウム	4	4
複合肥料	850	複合肥料	646	△ 204
高度化成	411	高度化成	320	△ 91
普通化成	89	普通化成	46	△ 43
配合肥料	343	配合肥料	267	△ 76
固形肥料	7	固形肥料	5	△ 2
(追加)	—	NK化成肥料	8	8
消石灰	10	消石灰	8	△ 2
炭酸カルシウム	15	炭酸カルシウム	9	△ 6
けい酸石灰	31	けい酸石灰	24	△ 7
水酸化苦土	19	水酸化苦土	15	△ 4
有機質	27	有機質	21	△ 6
なたね油かす	11	なたね油かす	9	△ 2
鶏ふん	16	鶏ふん	12	△ 4
<b>飼料</b>	<b>1,925</b>	<b>飼料</b>	<b>2,296</b>	<b>371</b>
庄べん大麦	55	庄べん大麦	66	11
一般ふすま	22	一般ふすま	26	4
ヘイキューブ	25	ヘイキューブ	30	5
脱脂粉乳	6	脱脂粉乳	7	1
大豆油かす	14	大豆油かす	17	3
ビートパルプ(外国産)	63	ビートパルプ(外国産)	75	12
とうもろこし	35	とうもろこし	42	7
配合飼料	1,705	配合飼料	2,033	328
成鶏用	171	成鶏用	204	33
ブロイラー用(後期)	285	ブロイラー用(後期)	340	55
幼豚育成用	112	幼豚育成用	134	22
若豚育成用	283	若豚育成用	338	55
乳用牛飼育用	483	乳用牛飼育用	575	92
肉用牛肥育用	371	肉用牛肥育用	442	71

<b>農業薬剤</b>	<b>774</b>	<b>農業薬剤</b>	<b>805</b>	<b>31</b>
殺虫剤	276	殺虫剤	287	11
D-D剤	—	D-D剤	—	—
MEP乳剤	—	MEP乳剤	—	—
アセフェート粒剤	—	アセフェート粒剤	—	—
ホスチアゼート粒剤	—	ホスチアゼート粒剤	—	—
エマメクチン安息香酸塩乳剤	—	エマメクチン安息香酸塩乳剤	—	—
クロルピクリンくん蒸剤	—	クロルピクリンくん蒸剤	—	—
クロルフェナビル水和剤	—	クロルフェナビル水和剤	—	—
(追加)	—	アセタミプリド水溶剤(顆粒)	—	—
殺菌剤	175	殺菌剤	182	7
TPN水和剤	—	TPN水和剤	—	—
マンゼブ水和剤	—	マンゼブ水和剤	—	—
ダゾメット粉粒剤	—	ダゾメット粉粒剤	—	—
チオフアネートメチル水和剤	—	チオフアネートメチル水和剤	—	—
フルアジナム水和剤	—	フルアジナム水和剤	—	—
アノキシストロピン水和剤	—	アノキシストロピン水和剤	—	—
(追加)	—	フルアジナム水和剤SC	—	—
(追加)	—	イミノクダジン酢酸塩液剤	—	—
殺虫殺菌剤	72	殺虫殺菌剤	75	3
フィプロニル・プロベナゾール粒剤	—	フィプロニル・プロベナゾール粒剤	—	—
シタフフラン・プロベナゾール粒剤	—	シタフフラン・プロベナゾール粒剤	—	—
チアトキサム・ピロキロン粒剤	—	チアトキサム・ピロキロン粒剤	—	—
(追加)	—	クロントラニリプロール・プロベナゾール粒剤	—	—
(追加)	—	クロチアニジン・イソチアニル粒剤	—	—
(追加)	—	イマダクロプリド・スピノサド・イソチアニル粒剤	—	—
除草剤	251	除草剤	261	10
グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	—	グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	—	—
(追加)	—	シハロホップアブチル・ペンタゾン液剤ME	—	—
イマゾスルフロン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤	—	イマゾスルフロン・ピラクロニル・プロモブチド粒剤	—	—
グルホシネート液剤	—	グルホシネート液剤	—	—
ジクワット・バラコート液剤	—	ジクワット・バラコート液剤	—	—
グリホサートカリウム塩液剤	—	グリホサートカリウム塩液剤	—	—
<b>諸材料</b>	<b>365</b>	<b>諸材料</b>	<b>604</b>	<b>239</b>
農業用ビニール	47	農業用ビニール	78	31
農業用ポリエチレン	25	農業用ポリエチレン	41	16
袋掛用紙袋	14	袋掛用紙袋	23	9
穀物用紙袋	22	穀物用紙袋	36	14
梱包用樹脂製品	32	梱包用樹脂製品	53	21
野菜用段ボール	167	野菜用段ボール	277	110
果实用段ボール	40	果实用段ボール	66	26
稲わら	6	稲わら	10	4
ペーパーボット	12	ペーパーボット	20	8
<b>光熱動力</b>	<b>912</b>	<b>光熱動力</b>	<b>850</b>	<b>△ 62</b>
ガソリン	203	ガソリン	189	△ 14
灯油	83	灯油	77	△ 6
軽油	130	軽油	121	△ 9
重油	272	重油	254	△ 18
モバイル油	15	モバイル油	14	△ 1
農用電力	187	農用電力	174	△ 13
水道料	22	水道料	21	△ 1
<b>農機具</b>	<b>1,882</b>	<b>農機具</b>	<b>1,326</b>	<b>△ 556</b>
小農具	271	小農具	180	△ 91
くわ	31	くわ	21	△ 10
かま	38	かま	25	△ 13
人力噴霧機	146	人力噴霧機	97	△ 49
ホース	56	ホース	37	△ 19
大農具	1,611	大農具	1,146	△ 465
刈払機(草刈機)	11	刈払機(草刈機)	8	△ 3
動力田植機(4条植え)	156	動力田植機(4条植え)	111	△ 45
動力噴霧機	37	動力噴霧機	26	△ 11
動力耕うり機	60	動力耕うり機	43	△ 17
乗用型トラクタ(15PS)	144	乗用型トラクタ(15PS)	102	△ 42
〃(25PS)	267	〃(25PS)	190	△ 77
〃(35PS)	131	〃(35PS)	93	△ 38
トレーラー	5	トレーラー	4	△ 1
自走式運搬車	11	自走式運搬車	8	△ 3
バインダー(2条刈り)	10	バインダー(2条刈り)	7	△ 3
コンバイン(2条刈り)	560	コンバイン(2条刈り)	399	△ 161
動力脱穀機	16	動力脱穀機	11	△ 5
動力もみすり機	35	動力もみすり機	25	△ 10
通風乾燥機(16石型)	106	通風乾燥機(16石型)	75	△ 31
温風式暖房機	18	温風式暖房機	13	△ 5
ロータリー	10	ロータリー	7	△ 3
パーソナルコンピューター	34	パーソナルコンピューター	24	△ 10

<b>自動車・同関係料金</b>	<b>530</b>	<b>自動車・同関係料金</b>	<b>274</b>	<b>△ 256</b>
軽四輪トラック	237	軽四輪トラック	123	△ 114
四輪トラック	49	四輪トラック	25	△ 24
ライトバン	22	ライトバン	11	△ 11
自動車定期点検料	222	自動車定期点検料	115	△ 107
<b>建築資材</b>	<b>375</b>	<b>建築資材</b>	<b>807</b>	<b>432</b>
角材	129	角材	277	148
板材	71	板材	153	82
合板	40	合板	86	46
トタン	19	トタン	41	22
セメント	28	セメント	60	32
アルミサッシ	50	アルミサッシ	108	58
シャッター	28	シャッター	60	32
硬質塩化ビニール管	10	硬質塩化ビニール管	22	12
<b>農用被服</b>	<b>28</b>	<b>農用被服</b>	<b>50</b>	<b>22</b>
作業着(上・下)	14	作業着(上・下)	25	11
軍手	2	軍手	4	2
地下たび	3	地下たび	5	2
ゴム長ぐつ	6	ゴム長ぐつ	11	5
雨合羽	3	雨合羽	5	2
<b>賃借料及び料金</b>	<b>1,056</b>	<b>賃借料及び料金</b>	<b>627</b>	<b>△ 429</b>
水稲耕起・代かき料金	38	水稲耕起・代かき料金	23	△ 15
田植料金	37	田植料金	22	△ 15
稲刈料金	141	稲刈料金	84	△ 57
もみすり賃	69	もみすり賃	41	△ 28
精白賃	17	精白賃	10	△ 7
共同施設利用料(稲)	438	共同施設利用料(稲)	259	△ 179
〃 (麦)	174	〃 (麦)	103	△ 71
〃 (野菜)	77	〃 (野菜)	46	△ 31
〃 (果実)	65	〃 (果実)	39	△ 26

注：農業生産資材総合(類別)の年平均価格指数を算出するためのウエイトを比較したものである。

## 5 令和2年基準指数と平成27年基準指数の比較

### (1) 農産物価格指数

表1 農産物(類別)の令和2年基準(新基準)・平成27年基準(旧基準)の価格指数の対前年騰落率

	ウエイト		令和2年指数		令和3年指数		対前年騰落率(%)		騰落率 の差 (ポイント)
	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	
農産物 (総合)	10,000	10,000	111.0	100.0	107.9	100.8	△ 2.8	0.8	3.6
米	2,273	1,572	128.9	100.0	114.8	88.6	△ 10.9	△ 11.4	△ 0.5
麦	81	80	144.1	100.0	153.8	106.1	6.7	6.1	△ 0.6
雑穀	14	6	54.7	100.0	68.2	126.0	24.7	26.0	1.3
豆	103	84	111.7	100.0	103.8	99.8	△ 7.1	△ 0.2	6.9
いも	213	274	108.3	100.0	124.6	113.9	15.1	13.9	△ 1.2
野菜	2,582	2,464	98.9	100.0	95.0	96.7	△ 3.9	△ 3.3	0.6
果実	1,097	966	133.1	100.0	128.8	100.9	△ 3.2	0.9	4.1
工芸農作物	232	297	95.0	100.0	108.3	113.4	14.0	13.4	△ 0.6
花き	502	352	101.1	100.0	106.6	107.8	5.4	7.8	2.4
畜産物	2,900	3,905	102.0	100.0	104.2	105.6	2.2	5.6	3.4
稲わら	3	-	114.3	100.0	119.3	-	4.4	-	-

### (2) 農業生産資材価格指数

表2 農業生産資材(類別)の令和2年基準(新基準)・平成27年基準(旧基準)の価格指数の対前年騰落率

	ウエイト		令和2年指数		令和3年指数		対前年騰落率(%)		騰落率 の差 (ポイント)
	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	旧基準	新基準	
農業生産資 材(総合)	10,000	10,000	101.8	100.0	106.9	106.7	5.0	6.7	1.7
種苗及び苗 木	530	454	105.5	100.0	106.3	101.5	0.8	1.5	0.7
畜産用動物	588	1,131	106.4	100.0	112.2	105.9	5.5	5.9	0.4
肥料	1,035	776	98.8	100.0	101.2	102.7	2.4	2.7	0.3
飼料	1,925	2,296	97.9	100.0	111.6	115.6	14.0	15.6	1.6
農業薬剤	774	805	102.3	100.0	102.5	100.2	0.2	0.2	0.0
諸材料	365	604	107.6	100.0	107.8	100.1	0.2	0.1	△ 0.1
光熱動力	912	850	99.1	100.0	111.2	112.3	12.2	12.3	0.1
農機具	1,882	1,326	102.4	100.0	102.3	99.9	△ 0.1	△ 0.1	0.0
自動車・同 関係料金	530	274	103.7	100.0	104.1	100.4	0.4	0.4	0.0
建築資材	375	807	106.1	100.0	119.8	113.0	12.9	13.0	0.1
農用被服	28	50	107.8	100.0	108.1	100.3	0.3	0.3	0.0
貸借料及び 料金	1,056	627	103.8	100.0	105.0	100.8	1.2	0.8	△ 0.4

## 6 パーシェ・チェックの結果

令和2年の年次指数（平成27年基準）について、平成27年基準のウェイトを用いたラスパイレース指数と令和2年基準のウェイトを用いたパーシェ指数との乖離を検証するため、パーシェ・チェックを行った結果、乖離率は農産物価格指数（総合）で△5.2%、農業生産資材価格指数（総合）で0.3%となった。

【農産物価格指数（総合）】

【農業生産資材価格指数（総合）】

	指 数		乖離率(%) 〔 $\frac{P-L}{L} \times 100$ 〕	指 数		乖離率(%) 〔 $\frac{P-L}{L} \times 100$ 〕
	ラスパイレース 指数 ( L )	パーシェ 指数 ( P )		ラスパイレース 指数 ( L )	パーシェ 指数 ( P )	
平成7年 (平2年基準)	95.7	96.2	0.5	100.1	101.1	1.0
平成12年 (平7年基準)	87.4	87.7	0.3	101.9	101.9	0.0
平成17年 (平12年基準)	99.7	99.9	0.2	102.7	103.3	0.6
平成22年 (平17年基準)	101.9	104.0	2.1	109.9	110.1	0.2
平成27年 (平22年基準)	107.6	108.8	1.1	110.6	111.7	1.0
令和2年 (平27年基準)	111.0	105.2	△ 5.2	101.8	102.1	0.3

「ラスパイレース指数」は指数の基準年を、「パーシェ指数」は指数の比較年を、それぞれの数量（ウェイト）の参照年次とする。

### 【ラスパイレース式】

$$\text{ラスパイレース指数} = \frac{\sum (\text{今年の価格 (農産物、農業生産資材) } P_t \times \text{基準年の数量 (ウェイト) (農業粗収益、農業支出) } Q_0)}{\sum (\text{基準年の価格 } P_0 \times \text{基準年の数量 (ウェイト) } Q_0)} \times 100$$

※基準年を100としたときの指数を求めため、計算式に100を掛る。  
 ※ここでは、わかりやすくするために、比較年を「今年」と表記。  
 ※Σ（シグマ）は、総和を表す記号。

### 【パーシェ式】

$$\text{パーシェ指数} = \frac{\sum (\text{今年の価格 (農産物、農業生産資材) } P_t \times \text{今年の数量 (ウェイト) (農業粗収益、農業支出) } Q_t)}{\sum (\text{基準年の価格 } P_0 \times \text{今年の数量 (ウェイト) } Q_t)} \times 100$$

一般にパーシェ・チェックの絶対値が大きいほど、新旧基準時点間におけるウェイト変化が大きいと考えられる。